

## 平成 23 年度の委員会活動報告

平成 23 年 9 月 28 日

男女平等推進センター パリテの活性化を考える懇談会  
—男女平等参画推進委員会と企画運営委員会意見交換会—  
希望していた男女平等参画推進委員との意見交換会が実現しました。  
西東京市の施策や事業運営に関わる双方が、初めて顔を合わせ互いの役割を確認する機会になりました。



平成 24 年 1 月 15 日

### 男女平等推進条例の勉強会

講師：内藤 和美さん（群馬パース大学教授）

男女平等への理解を深め、誰もが自分らしく生きる『男女平等社会』を目指す男女平等推進条例について、先進市の事例を交えた勉強会でした。条例制定には一人でも多くの理解と機運が必要と感じました。



平成 24 年 2 月 25 日

### 男女平等推進センター企画運営委員の報告と懇談の集い

#### 《内容》

- ★平成 22 年度パリテ実施事業報告（紙面にて報告）
- ★平成 23 年度パリテ実施事業報告
  - ①男女平等推進センター事業決算（見込み）報告
  - ②各委員より報告



#### 《意見の概要》

- ・女性の生き方が多様化している中、シングルマザーとして働いている女性には厳しい現状がある。センターの男女平等を基本とする多方面の企画を実施してほしい。
- ・地域に限定せず、日本や世界の男女平等の動向に目を向けた、グローバルな視点での講座を企画してほしい。
- ・情報誌パリテは、中学生にも配布されているので、中学生に身近な企画の掲載があっても良いのではないかな。
- ・情報誌「パリテ」について、全戸配布を希望する。
- ・働く女性は、子どもの小学校や中学校への入学を機に退職するケースが多く、職場復帰は聞くことがない。女性が働き続けるのは難しいのが現状だが、40～50代になって、仕事を続けていて良かったと思いたい。地元でパートなどで働き続けている人の話などを聞きたい。
- ・自立支援講座は、DV被害者が対象で、一般には広報されていないようだが、本人がDV被害者とは認識していない、隠れたケースが多々あるのではないかな。DVだと気づくためにも、一般へのDVへの理解を深めるためにも市報等でも広報してほしい。
- ・男女平等施策は西東京市男女平等参画推進計画に基づき推進しているが、今後の課題として男女平等推進条例の制定が必要。
- ・「パリテだより」の表紙はパリテの活動がわかるようなメッセージ性（市民の目に留まる）のあるものにしてほしい。
- ・西東京市の防災計画に女性センターの役割を明記する必要がある。

## 就労支援講座 カラーコーディネート ～似合うカラーで自分磨き～

3月3日（土） 講師：鶴崎 紀子さん

天候に恵まれ参加申込 20 名、全員が講座に出席されました。  
転職を希望している方は、色を味方につけることに積極的で、是非役立てたいとお話されていました。多くは、どうしても無難な色、暗い色を選びがちで、明るい色にも挑戦したいという希望をお持ちの方が多くいらっしゃいました。また、年齢を重ねて自分に似合う色選びについて改めて確認したい方も多いようでした。

保育利用の方は、初めて子どもを預けて自分の時間を持てたというお話をうかがえました。この講座を通して、色を自分の生活に役立て、明るく積極的な気持ちになって頂けると良いと思います。



## 基礎講座 パパが学ぶ被災地の子どもの育ち支援 ～そして地域、家族のこと～

3月4日（日） 東洋大学教授であり、NPOこども福祉研究所理事長・西東京市子ども福祉審議会会長でもある森田明美先生のご指導で、震災1年をまもなく迎えるこの日に、主に西東京市在住のパパたちを中心として、約10名集まり、震災のこと、家族のこと、地域のこと、被災地の子どもの育ち支援のことを考えました。

まずは、震災当日のそれぞれの状況を、参加者が発表し、その日のことを思い出したうえで、森田先生が支援されている山田町ゾンタハウスのことをお聞きしました。

災害にどう備えるか、地域や被災地に対して、パパができることは何か、そして、地域に何を残していくのかと、森田先生にまとめていただき、自分の中で、方向性がまとまり、具体的に何をしていくか、考えやすくなったことで得るもの大きい講座でした。



### 共通講座

## 夫婦のコミュニケーション講座 ～パパの心のつかみ方・ママの心のつかみ方～

3月25日（日） 講師：百世 瑛衣乎さん（作家、ジェンダー研究家、ブログ・アナリスト）

夫婦の参加ではなく個人参加での講座は、本音で語り合うことができました。パパ6人のグループ1つ、ママ4人のグループを2つ作り「いやだった言葉」と「うれしかった事」を模造紙に書きだしていきまし。その後、それぞれがグループワークしたことを発表し合いました。

パパへの上手な接し方ポイントとして、上から目線ではなく責めずに伝えること、褒めたり、感謝をするときには少しおかげさに表現すること。ママが言われて傷ついてしまうセリフとして、「手伝おうか？」や「毎日なにやってんの？」の言葉は家事、育児は女がやること、認めてもらえず、経済力がないことを指摘されているように感じてしまう、などが挙げられました。

周囲の目を気にしながら、一人で育児をしているというママの重圧を理解し、パパも一緒に共有することで不安がなくなり夫婦の連帯感や信頼感が高まります。

当日、パパに子どもを預けて参加したママが自宅に帰ったら、家の中が綺麗にしてあったそうです。さっそく講座で学んだ「O型の夫は褒めて効く」を実践したそうです。